

現状の整理およびパターンについて

**第4回 練馬区立大泉第二中学校の教育環境保全および
都市計画道路の整備に関する有識者委員会**

1 地域の現状から考えられる課題等

地域の現状

<まちづくりについて>

- 周辺区市とのネットワークが図られていない
- 都市計画道路の整備率
【練馬区:約50.3%、23区平均:約64.2%】
- 周辺区道の渋滞長
【学芸大通り最大渋滞長：120m】

<交通安全について>

- 生活道路への通過交通の流入
- 特定箇所での交通事故の集中

<防災・震災時の対応について>

- 未形成な延焼遮断帯
【補135：主要延焼遮断帯、補232：一般延焼遮断帯】
- 消防活動困難区域
- 避難拠点等への啓開路線の指定状況

<大泉第二中学校について>

- 区内34校中5番目に広い校地【18,919m²】
- 区内34校中4番目の生徒数【575名】
- 大泉第二中学校および周辺中学校通学区区域内における年少人口
- 体育祭・部活動等の様々な学校行事

- ・ これまでの教育環境の保全
- ・ 配慮する教育施設の機能等の検討

両立

上位・関連計画 (区が目指す姿)

<練馬区都市計画マスタープラン>

- 都市のネットワーク
「移動の円滑化、環境、防災性の向上を図るため、鉄道・道路ネットワークの形成」
- 安全・安心のまち（防災・復興まちづくりの方針）
建築物の耐震化・不燃化、狭あい道路の拡幅、延焼遮断帯の整備、治水施設の充実等により災害に強いまちをつくります。
- 活動的にぎわいのあるまち（移動しやすいまちづくり）
生活道路での通過交通の抑制や、自転車の走行環境の向上、交通マナーの向上を図ります。

<東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）>

【将来都市計画道路ネットワークの検証項目（15項目中）】

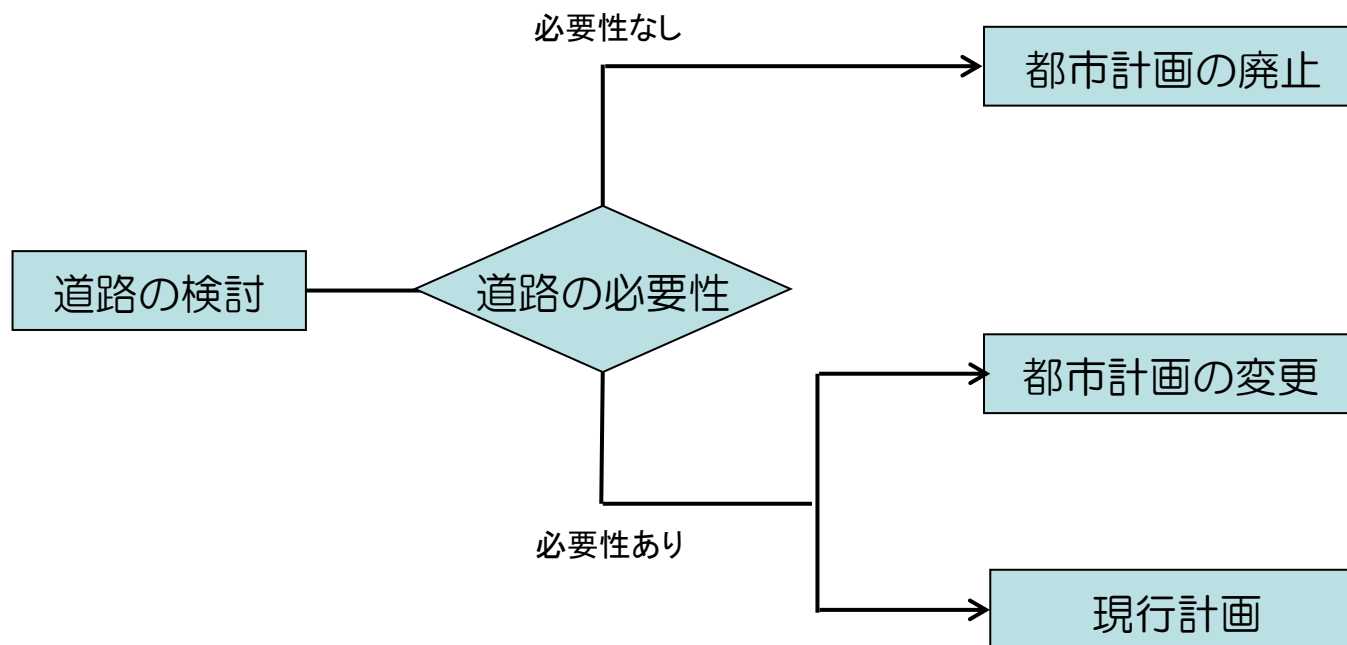
- | | |
|------------------|-------------|
| 〔補助135号線〕 | 〔補助232号線〕 |
| ・ 交通処理機能の確保 | ・ 交通処理機能の確保 |
| ・ 延焼遮断帯の形成 | ・ 延焼遮断帯の形成 |
| ・ 公共交通の導入空間 | |
| ・ 救急医療施設へのアクセス向上 | |

課題（案）

- ・ 将来の道路ネットワークの形成に向けた整備
- ・ 生活道路への通過交通の排除と交通の円滑化
- ・ 啓開路線の改善
- ・ 延焼遮断帯の形成
- ・ 消防活動困難区域の改善
- ・ 交通事故の解消

2 検討を進める上での整理①

●道路について



2 検討を進める上での整理②

●中学校について

